

「新しい学校づくり」 通信

令和 6 年 4 月開校予定 北地域 義務教育学校の校名募集について

令和 6 年 4 月に、2 校の義務教育学校を開校するため、校名検討会議を実施し、北地域（現本川根小学校・本川根中学校）の義務教育学校の校名募集を 5 月 12 日（金）からスタートしています。回覧通知、ホームページ等でご確認いただき、ぜひご応募ください。

＜応募用紙＞

川根本町北地域 義務教育学校名 応募用紙

下記の内容を記入していただきます。教育委員会へお送りください。
応募は一人一紙となります。応募時に姓、名、住所、郵便番号、FAX、メールアドレスを記載してください。
小中学生は、学年を明記してください。
申込場所は、川根本町庁舎、支所、文化会館、山村開発センター
文化会館、各小中学校に設置します。

1 <北地域の義務教育学校名と名称にこめた思い>

① (ふりがな)	学 園
学校名	
② 名称にこめた 思いを記入	

2 <応募者>

③ 姓 名	
④ 氏名	
⑤ 年齢	⑥ 連絡先 (電話番号)

【お問い合わせ・応募先】
川根本町教育委員会 教育総務課
〒329-0611 川根本町川本町下田 11-9-1
TEL 0847-09-2225 / FAX 0847-09-2116
電子メール koushokun@town.kawakubo.lg.jp

(Q1) 「応募用紙をどこにあるの？」

応募箱設置場所（各小中学校、川根本町役場本庁、支所、文化会館、山村開発センター）に用意してあります。また、川根本町ホームページからダウンロードできます。

(Q2) 「応募用紙に記入する内容は？」

①～⑥を記入していただきます。

- ① 学校名
- ② 名前にこめた思い
- ③ 住所
(※卒業生は卒業年度、学校名)
- ④ 氏名
- ⑤ 年齢
- ⑥ 連絡先



(Q3) 「応募用紙はどこへ提出するの？」

応募箱（各小中学校、川根本町役場本庁、支所、文化会館、山村開発センターに設置）に投函、または、郵送、FAX、メールのいずれかにて応募してください。

南地域（現三ツ星小学校・中川根中学校）の義務教育学校の校名については、4月25日（火）に校名検討委員会を行いました。委員の皆様から

「“3つの小学校が1つに” “星のように輝く子供たちになってほしい” という思いや願いが込められた校名を引き継ぎたい」

「中川根中では、生徒会・委員会など、“三ツ星”という名称が根付いており、“三ツ星”という名前を、小1から中3までの9年間の見通した活動とつなげ、生かしてほしい」

「昨年の選考で小中学生から意見を聴取したことが“三ツ星”に決定した大きな要素となった」

「1年間だけで校名が変わるのは、子供たちにも保護者にも戸惑いや心配がある」

等の意見をもとに協議し、「三ツ星」の名前を引き継ぎ、「川根本町立三ツ星学園」という名称でまとめました。

義務教育学校とはどんな学校か？

「義務教育学校」は、2016年（平成28年）学校教育法の一部改正により、制度化され、設置が可能となりました。令和4年度末現在で、全国でおよそ180校あり、静岡県には「土肥小中一貫校」に続いて2校目の義務教育学校となります。先行きが不透明で将来の予測が困難な未来を、たくましく、しなやかに生きていく子供たちを育成するための教育改革として実施していきます。

小学校と中学校がひとつの学校となり、9年間一貫した支援を行うことができる学校です。

義務教育学校

小学校・中学校の教員が児童・生徒どちらも指導することができ、それぞれの専門性を生かした支援ができます。

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

目指す児童生徒像に向け、9年間の系統的な教育課程のもと、学習や行事を進めていきます。

学校の創意による特別な教育課程を編成することができ、9年間を見通したキャリア教育（進路指導）や、川根本町の特色を生かした新しい教科の実施、指導内容の入れ替えも可能です。

教科担任制や多様な異学年の活動ができます。上級生の姿を通して、あこがれる気持ちや規範意識の高まり、児童・生徒同士の主体的な関わり合い、学び合いが期待できます。

現在の学校

小学校

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
-----	-----	-----	-----	-----	-----

小学校は6年間の教育課程

中学校

1年生	2年生	3年生
-----	-----	-----

中学校は3年間の教育課程

現在の小・中学校が取り組んでいる教育活動の成果や課題を生かして、よりよい学校になるよう、9年間の教育課程を協議していくことになります。

義務教育学校では、中1ギャップ（新しい生活や環境になじめず、不登校が増える、いじめが起きやすいなどの現象）という壁を緩和、解消し、個性に応じた継続的なかわりが期待されています。

～終わりに～

校名募集について、今週から、かわねフォンでもお知らせをしていきます。締め切りは6月9日（金）です。ぜひご応募ください。

次号6月号は、「校名募集の進捗状況」と「CS（コミュニティ・スクール）」についてお伝えしていく予定です。